

アイデア提案書

提案番号	No.17-2		
提出年月日	平成29年8月31日	受付年月日	平成29年8月31日
所属		職名・氏名	(<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 代表者)
提案件名	まちづくりプロデューサーの登用		
提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input checked="" type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input checked="" type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	企画課、財政課、総務課		
現状及び問題点	<p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>備前市総合計画に基づき行政運営、まちづくりに取り組んでいるが、人口の流出、財政状況の悪化、産業振興など打開策がない。また、市民の満足度を上げられる施策や斬新な取り組みやアイデアは、市長、職員、議員だけでは限界にきている。</p> <p>また、これまで大学生のアイデアや活用、各部局で様々な地方創生事業に取り組んできたが、地方創生に繋がる効果が表れていない。</p>		
提案の内容	<p>(実施の方法について具体的に)</p> <p>本市のグランドデザイン、将来ビジョン、経済対策、財政健全化計画など市民が特に関心のある課題・施策を解決できるための企画、計画、実践ができるプロデューサー(2名程度)を全国から公募する。プロデューサーには民間人・国家公務員問わず「考えて動ける人材」を登用する。(実績を考慮し最低3年間は任用する)</p> <p>企画・財政系には、国家公務員(キャリア)・大手金融機関・監査法人など財政再建の立役者を、産業振興には、IT企業・商社・大手広告代理店など民間から行政への出向(地域おこし企業人)の導入が考えられる。(特別職として待遇)</p>		
期待される効果	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の健全化、経済効果の上昇。 ・意識高い市職員が輩出される。 ・プロデューサー出身の組織とのパイプ強化、連携が可能。 ・全国的にも有名なモデル自治体を目指す。(知名度向上) 		

担当課検討結果	
企画課	<p>これまで色々な事業に取り組み実施していますが、顕著な効果が見られないところであります。</p> <p>他自治体では、特別顧問ということで政策的又は専門的事項に関し、調査又は審議、助言等をいただくため、各分野で雇用しているところもあります。</p> <p>提案内容に近いものとして備前市では、市政アドバイザーという形で設置に向け、進行しています。</p>
財政課	<p>財政課として財政健全化計画や行政評価などにおける外部人材の登用について検討しました。</p> <p>1 地方創生人材支援制度について</p> <p>内閣府が地方創生に積極的に取り組む人口 5 万人以下の自治体に国家公務員、大学研究者、民間人材を市長の補佐役として派遣する事業として取り組んでいます。当市においては、現教育部長が文部科学省から平成 28 年度から 29 年度にかけてこの制度により派遣されています。</p> <p>当市の財政状況からすると、経常収支比率が高く、いわゆる投資的経費が少なく、これをカットすることは限界があると考えています。また、多くの経常経費は、担当課と経営層が決断することで初めて削減可能となるもので、財務のプロの存在により削減することは期待できないと考えています。</p> <p>今後、公会計が導入されるなどの動向もあり、また、大規模な官民連携事業を検討する際には、資金調達などの部分においてこうした財務のプロの存在が必要となる場面が訪れる可能性はあると考えています。</p> <p>2 任期付き職員の雇用について</p> <p>基本的には、上記と同様の理由で現時点では活用の場面が少ないと考えています。</p>
総務課	<p>プロデューサーとして登用し、まちづくりの企画、計画、実践までを担うとのことですが、定員管理上、軽々に任用について言及できませんし、担当内容についても慎重な検討が必要と考えます。(地方創生推進課、シティセールス課、まち営業課へも意見を求められてはいかがでしょうか)</p> <p>特別職として待遇との提案もあり、登用の方法は多々考えられますが、提案の趣旨として、現在の備前市役所に必要なことが、斬新な取組やアイデアの限界を補完することならば、専門的知識経験者又は優れた識見者から、シンクタンク的な位置付けで意見を求めるなど、選択肢は多々あると考えます。</p>

様式第7号(第9条関係)

提案事項審査報告書
(アイデア提案用)

提案番号 No.17-02	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 まちづくりプロデューサーの登用

審査項目	審査基準					委員会委員 の平均点
	5点	4点	3点	2点	1点	
問題意識	非常によく認識している	よく認識している	認識している	多少認識している	あまり認識していない	3.8点
創造性	着想が非常に独創的である	着想が独創的である	創意工夫している	改善工夫の意識がある	既成のものと変わりがない	2.8点
有効性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	2.9点
効率性	非常に効果がある	かなり効果がある	効果がある	多少効果がある	あまり効果がない	3.0点
費用対効果	非常に経済的である	かなり経済的である	経済的である	多少経済的である	あまり経済的でない	2.0点
具体性	非常に具体的である	かなり具体的である	具体的である	多少具体的である	あまり具体的でない	3.0点
実現性	直ちに実現できる	多少の準備が必要である	相当の準備が必要である	内容の検討が必要である	実現は困難である	2.9点
【意見】 採用 2名 否採用 8名 どちらでもない 2名					合計 (総合評定)	20.3点
					判定	採用 不採用 保留
					表彰	市長賞 優秀賞 参加賞
					ほう賞金	3万円 5千円 500円

審査委員意見

- ・ 全庁的な精査が必要と思われる。
- ・ 現行の枠組み内（連携協定など）で試験的に導入してみてもいかがでしょうか。また、職員派遣先の一つとして民間企業を選定されてみるはいかがでしょうか。